

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		090204 有害大気汚染物質等モニタリング調査事業		担当部課	部課コード	090200	2998-9230	
事業コード		090204		環境対策課				
開始年度		平成 9 年度		終了年度	年度			
グループ		青空・化学物質						
事業の概要	事業の種類別	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画			大気汚染防止法			
	関連・類似事業	大気汚染状況の常時監視事業(環境対策課)、ダイオキシン類による汚染状況の常時監視事業(大気、水質等)(環境対策課)						
	総合計画の体系	章 環境・自然	節 環境保全	基本方針	大気環境の保全と改善			
事業開始の背景	人の健康に係る被害の未然防止を目的として、大気汚染防止法が改正(平成8年改正)され、平成9年度から、同法第22条に基づき本事業を開始した。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	有害大気汚染物質に係る環境基準設定項目を中心として、大気の汚染状況を常時監視し、大気汚染防止に係る施策の基礎資料とする。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	44	項目		
	有害大気汚染物質(揮発性有機化合物等)			平成 27 年度	44	項目		
事業の具体的な内容及び実施方法	<p>本事業、環境省が定める「事務処理基準(平成13年5月21日付環境省環境管理局长通知)」及び「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」等に基づき、市内3地点において調査を実施している。</p> <p>調査計画の作成(調査項目、調査日程等)          調査の実施(12回/年)          測定精度の審査、測定値(年統計値を含む。)の確定          調査結果の国・関係機関・市民等への情報提供</p>							
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			4,340	5,268	4,264		
	決算(見込み含む)			4,151	4,242			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	( 人)	( 人)	( 人)	( 人)			
	正規職員人件費	0.51 人	4,448	0.56 人	4,850			
	事業費合計			8,599	9,092			
財源内訳	一般財源			8,599	9,092	4,264		
	国・県支出金			0	0			
	その他( )			0	0			
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	有効調査項目	有効な調査結果が得られた項目数	項目	44	44	44	
		調査項目数	調査分析をした項目数	項目	44	44	44	
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	有効調査項目率	有効調査項目/調査項目数×100	%	目標値	100	100	100
					実績	100	100	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	平成27年度実施項目の測定頻度について一部見直しを行い、検体数を削減することができた。							
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	これまで市内3ヶ所で測定してきたが、今年度から1ヶ所減らすこととしたことから、これ以上の縮小は困難であるため。		
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	本市大気環境の保全及び改善に不可欠な基礎調査であるため。			
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	日々の測定結果の精査を行うとともに、測定機器の管理徹底により、精度管理に努めている。			今年度は、環境省が定める「事務処理基準(平成13年5月21日付環境省環境管理局长通知)」及び「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」に従い実施しているところであり、今後も引き続き常時監視を実施する。				
	評価日	H28.8.19	評価者職氏名	環境対策課長 矢野 正和				
環境影響	有益な環境影響	4-1大気汚染の防止		有害な環境影響を及ぼす原因活動	自動車の使用、紙の使用		規制を受ける環境法令等	無
							緊急事態	無